

第2期栗東市子ども・子育て支援事業計画にかかる量の見込み（案）に対する意見および回答

資料 1-1

	ページ	事業	委員からの意見	回答
1	P1	2号認定 保育認定①	本年度までの実績がないのに、来年度からのニーズが数として出ているのは、どこからの数字でしょうか。	<p>2号認定の保育認定①とは「保育を受けることができる就労状況であるが、保護者の希望として幼稚園や幼児園の短時部を利用したい」方が該当します。ニーズ調査において、以下の条件に該当した方の割合が令和2年度のニーズとして算出されています。</p> <p>【2号認定 保育認定①の条件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・両親ともフルタイムで就労している。または、一方がパートタイムで月64時間以上働いている。 ・ニーズ調査で、現在利用している教育・保育事業で「幼稚園」または「幼児園短時部」を選択 ・ニーズ調査で、今後の教育・保育事業の希望で「幼稚園」または「幼児園短時部」を選択 <p>なお、この2号認定の保育認定①のニーズ量（例：R2年の321人）は、1号認定のニーズ量に含め計上しています。（例：R2年の1,454人の内数）</p>
2	P3	6.子育て短期支援事業	<p>①今までの実績が0なのに、来年度以降のニーズが49なのはなぜでしょうか。 本事業の要件が「保護者等が病気等で保育ができない場合」なので、そういった事案が発生した時のために準備しているが、利用がなかったためとみえず、必要になった時のために数を確保しているということでしょうか。</p> <p>②病気以外の利用はできないのでしょうか。</p> <p>③利用できる場合、どういった形で利用者に知らせているのでしょうか。</p>	<p>①令和2年度以降のニーズ量「49人」は、ニーズ調査から算出された数値となります。 また、平成27年度～平成31年度までのニーズ量は「6人」となっていますが、利用実績としては「0人」でした。（第1回会議 資料2 P15）</p> <p>②③本事業については、「保護者が病気などの社会的要因や仕事の事由により養育が一時的に困難となった場合」に利用が可能です。利用にあたっては、まず市の家庭児童相談室に相談していただき、お子さんや家庭の状況を把握したうえで利用が必要と判断した場合に、受け入れ先の守山学園と利用の調整を行います。</p>

	ページ	事業	委員からの意見	回答
3	P8	4.放課後児童健全育成事業 大宝東小学校区	1年生のニーズ量について、令和2年19人→令和3年31人と、ニーズが急に増えていますが、これらは現在の年中児（2号認定）の数から算出された数値なのでしょうか。	令和3年の1年生＝令和元年の年中児（4歳児）、令和2年の年長児（5歳児）にあたる園児数が多いことが影響し、学童のニーズ量も多くなっています。 その他、1年生で急にニーズ量が増加している箇所については、同様に、前年の5歳児の園児数が影響しています。